

NC ワイヤカットを用いた押し型の作成

概要

材料系の研究室からの相談で試作した押し型です。試作のため本体の形状は簡易化されています。

旋盤で製作した本体に対し、NC ワイヤカットを使って上下貫通の溝を切ることによって押し型を作成しています。

アルミの治具に本体を挿し込んだ状態で固定し、治具側に空いた穴(計6か所)に放電用ワイヤを結線、治具ごと切断することで加工しています。

溝の切断には面粗さ、寸法精度の観点からミクロン加工と呼ばれる手法を採用しています。

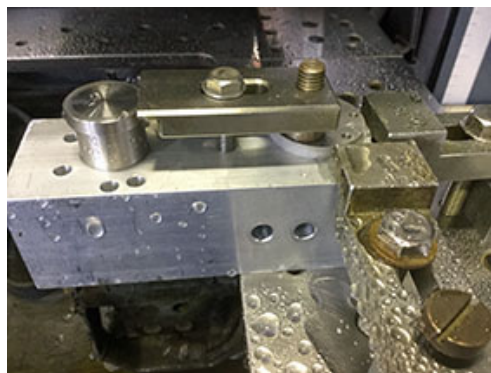


Figure 1 加工前

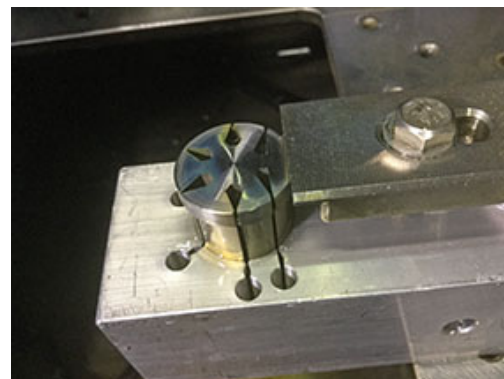


Figure 2 加工後



Figure3 取り外した状態

使用したシステム

工作機械：汎用旋盤:TSL-550
NC ワイヤカット:U32
被削材：ステンレス (押し型)
アルミニウム (治具)
工具：φ0.25 真鍮線
CAD: AutoCAD

依頼者が準備するもの

2次元図面
印刷物または AutoCAD 形式